

2011年3月17日

東日本大震災による為替相場への影響について

このたびの東日本大震災に被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

【円急騰、最高値を更新】

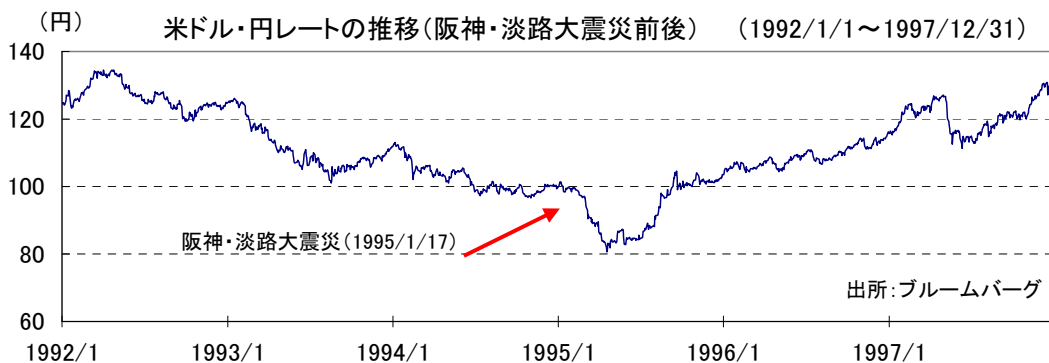
3月17日早朝の為替市場では、東日本で11日に発生した巨大地震と、その後の福島原子力発電所の事故を受けて、日本の企業や投資家が外貨建て資産を売って本国送金するとの思惑が強まったことから、円が買い進まれる展開となりました。円相場は対米ドルで一時、1米ドル=76円台に急伸し、戦後最高値を約16年ぶりに更新しました。

【円高・ドル安は他通貨にも波及】

円高・ドル安の動きは他通貨にも波及し、円相場は対ユーロでは一時、1ユーロ=106円台まで急騰しました。同様に、対豪ドルでは一時、1豪ドル=74円台、対ブラジルリアルでは1リアル=45円台まで、それぞれ円高が進む展開となりました。為替市場で円の独歩高が進んだ背景としては、日本企業が海外から日本に資金を戻すとの観測に加え、地震と原発事故による不安心理から国内投資家のリスク回避姿勢が強まり、緊急避難的に海外資産を売却して円を買い戻すとの思惑が強まったことがあげられます。

【阪神・淡路大震災の例】

阪神・淡路大震災が起きた1995年1月以降にも円相場の急激な上昇がみられ、米ドル・円相場は同年4月に一時、1米ドル=80円を割り込みました。ただし、震災後の復興が進むにつれ、米ドル・円相場は反発に転じ、同年9月には同100円台を回復するなど急速に切り返しました。日本経済が震災から立ち直るのに伴い投資家心理が改善し、行き過ぎた円高が修正され、円安に向かいました。



最終ページの「本資料をご覧ください」の上での留意事項をご覧ください。

【今後の見通し】

今回の震災および原子力発電所の事故・電力供給問題による経済・社会への影響等については、現時点で不透明であり、為替市場でも短期的には円高が進む可能性があります。しかし、為替相場の動向次第では、政府・日銀による為替介入、さらには、各国による協調介入の可能性もあります。また日銀は、14日に過去最大規模となる資金供給を即日実施し、追加的な金融緩和を決定するなど、地震による日本経済の下振れを食い止めるための積極的な支援策を打ち出しました。震災後の非常事態のもと、政府も日本経済下支えのため、最大限の政策対応をするものと考えられることから、投資家心理は徐々に改善し、為替市場は安定化するものと思われれます。

米ドル・円レート



ブラジルレアル・円レート



豪ドル・円レート



ユーロ・円レート



*為替レートはすべて、2010/3/1～2011/3/17 のデータ。3/17 は 11:05 現在。

出所:ブルームバーグ

最終ページの「本資料をご覧ください上での留意事項」をご覧ください。

本資料をご覧いただく上での留意事項

●当資料は、説明資料としてレッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社（以下「当社」）が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。●当資料に記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。

投資信託の取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）等の内容をよくお読みください。

投資信託委託会社

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 417 号

加入協会：（社）投資信託協会、（社）日本証券投資顧問業協会

取扱販売会社の照会先 <http://www.leggmason.co.jp> 電話 (03)5219-5943